

第2回 ふくまる夢たまごセミナー

日時 6月7日（金）18：00～20：00

場所 池田市庁舎7階大会議室

内容 ①「教育のまち池田・各学園の特色」

小林弘典（教育政策課長）

②「先生って、大変！でも、ええよ！」

磯村悟史（教育政策課指導主事）

③「池田と前川の教育」

～明日じゃない、今日行く～

前川亮太（教育政策課指導主事）

④「現場実習の心得」

加藤美穂代（セミナーアドバイザー）

⑤グループ協議

6月7日18時、27名の塾生が出席し、第2回ふくまる夢たまごセミナーが始まりました。遅れて出席、欠席等も全て事前連絡があり、セミナーに取り組む塾生の姿勢がわかります。

①では、小林課長から「教育のまち池田・各学園の特色」と題し、池田の5学園の概要が伝えられました。全市で実施している小中一貫教育では、中学校区を校区と呼ばずに学園と総称し、各学園がそれぞれにシンボルマークを作成、共通の目指す子ども像を示し教育活動を行っている等の説明がありました。また、昨年度のふくまる教志塾の塾生が学校現場で活躍している様子が紹介されました。





②「先生って、大変！でも、ええよ！」では、磯村指導主事から自分の教師生活は、勘違いから始まったという内容の貴重な経験を聞くことができました。

生徒全員が体育大会を楽しみにしているんじゃない、一人で食事をしたい生徒もいるなどの具体的な話から、みんなそれぞれ、それが当たり前、得意・苦手があってそれでいいという塾生への

力強いメッセージになりました。また、授業中の机間巡視や、一日のうちに話した生徒の名前を名簿で確認していくなどの具体も学ぶことができました。

③前川指導主事の「池田と前川の教育」～明日じゃない、きょういく～では、塾生同士が意見を交わす場面もあり、テンポよく、ユーモアを交え、笑いの絶えない時間になりました。特に1+1は1である、また、2枚の写真ともカツオ漁であるなど、塾生が常識と思っていることにゆさぶりをかけ、ものの見方の多様性が示されました。当たり



前だと思っていることが本当に当たり前なのかを考えることの大切さ、そして、子どもになぜだろうと考えさせることの大切さを学びました。



④では、「現場実習の心得」について、加藤美穂代セミナーアドバイザーから話がありました。学校という現場ではどんな仕事も率先して行うこと、笑顔で楽しんで多様な経験を積むこと、何かあれば必ず連絡すること等、教師としてだけでなく社会人としてのマナーについて学びました。

セミナーの最後は班別協議でした。班別協議は、セミナーのテーマから題材を設定し、互選した進行役によって協議を進行します。その後、議論された内容をそのグループの塾生の一人が代表して発表します。今回も6名の塾生が1分間で簡潔に発表しました。これからも塾生の実践力を育むため班別協議を続けていきます。

<塾生の感想から>

○ 池田の学校のそれぞれの特徴について知ることができました。特にほそごう学園は、まだ珍しい義務教育学校ということで異年齢交流の多さが新鮮でした。



○ 磯村先生や前川先生のお話を聞いて、当たり前とと思っていることが当たり前でないことを忘れてはいけないと思いました。それぞれの子どもが何が得意で何が苦手か、どう思っているのかなどを知るためにも、子どもと話し関わり続けることが大切だとわかりました。



○ 印象に残ったのは、子ども一人ひとりに特性があることをしっかり認識するということです。大前提ではありますが、児童一人ひとりを尊重することを実習でも心がけたいと思います。

○ 体を動かしたり細かいことをしたりするのは得意ですが、苦手なことも

たくさんあります。それを一人で考えるのではなく、チームとして一緒に目の前の子ども達に関わる姿勢を学びました。いよいよ現場実習が始まりますが、笑顔で楽しくすることを心がけて、1つでも多くのことに気づき、考え、行動していきたいです。